



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 500部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報部

健康に自信がある人は・・・

40歳を過ぎたら、 健診・がん検診

を受けましょう!!

※自覚症状がある人、
該当のがんで治療や経過
観察中の人は専門医や
かかりつけ医に相談
しましょう。



萩市

阿武町

検診が 受けられる人	萩市国保・後期高齢者 社会保険扶養者	阿武町国保・後期高齢者 社会保険扶養者または本人
実施期間	12月25日(火)まで	1月31日(木)まで
予約受付窓口	時間: 午前10時30分～午後3時まで (前日の予約は12時まで) 場所: 健診室(東館1階) 電話: 0838-22-3090 ※人間ドック・胃カメラ(萩市任意検査)の予約は終了しました。ありがとうございました。	



大腸がんは、近年急増しています！
進行するまで自覚症状がほとんどないので、
早期発見するには検診が有効です。

安心

便潜血検査による大腸がん検診を受けた人では死亡率が
60～80%低下し、進行がんが約50%減ります。
もしがんが見つかって、早期発見・早期治療なら95%以上
が治ります。

簡単

2日分の便をとって指定の窓口に出すだけ。
痛みも食事制限もありません。※容器は事前にお渡しします

安い

住民健診で受けると200～300円(市町から補助があるため)



がん検診で必ずがんを見つけられるわけではありません。がんがなくても、検診の結果が
「がんの疑い」となる場合があります。



平成30年6月1日

『入退院支援センター』を開設しました



入退院支援センターでは入院予約時に、身体的・社会的・精神的問題を含め患者様の基本情報を担当看護師が把握し、必要に応じて医療ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士・事務職員と共に、患者様が安心して入院そして退院できるようにサポート致します。



金子センター長



学会発表してきました

第63回日本透析医学会学術集会・総会

The 63rd Annual Meeting of the Japanese Society for Dialysis Therapy



6月29日(土)から3日間にわたり、神戸ポートアイランド5会場にて「第63回日本透析医学会学術集会」が行われました。

例年全国より2万人に及ぶ参加者が集う国内最大規模の学術集会に参加させて頂き、ポスターセッションにて

『東レBV計及びクリットラインモニターとHt実測値との比較』という演題で発表させて頂きました。

今後とも透析医療に貢献できるよう努力して行きたいと思います。

臨床工学技士 中野賢治



第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

9th Annual Conference of Japan Primary Care Association

外科の山本達人医師が『へき地・市中病院における専門性を越えた勤務医の役割』という演題で発表してきました。



40th 日本癌局所療法研究会

The 40th Annual Meeting of Japanese Society for Research of Local Regional Cancer Therapy

外科の亀井滝士医師が『Mohsペーストと薬物療法によりQOLが著明に改善した進行乳癌の1例』

徳久晃弘医師が『下部胆管癌術後に胸壁転移をきたした1例』という演題で発表してきました。

Mohsペーストと薬物療法によりQOLが著明に改善した進行乳癌の1例



医療法人徳久晃弘医師 外科、薬剤師・亀井滝士、山本達人、徳久晃弘、新井和彦、北村義典、安藤野一郎、廣瀬孝、玉一寛之

TSUSHIMI Hospital

下部胆管癌術後に胸壁転移をきたした1例



徳久晃弘 外科

徳久晃弘、新井和彦、西村謙祐、亀井滝士、北村義典、安藤野一郎、山本達人

第77回 山口県臨床外科学会

外科の徳久晃弘医師が『当院における直腸脱に対するDelorme手術の検討』

西村謙祐医師が『腸骨動脈仮性動脈瘤破裂に対するInterventional Radiologyと外科的治療のCombined therapy』という演題で発表してきました。

ナースの ひとこと

“心に残る看護場面” 発表会

5月29日(火)7階会議室において、新人看護師による“心に残る看護場面”の発表が行われました。発表に心打たれて涙し、また、プリセプターさんからのYELLにグッときた私でした(取材広報部員より)。

6階病棟 長谷川
がんの患者様との
関わりを振り返って

5階病棟 古谷
認知症の患者様と家
族との関わりを通して

3階病棟 田中
急変!! 呼吸困難に
遭遇して

東3階病棟 雲井
家族の思いに
寄り添う看護
について

5階病棟 竹岡
患者様からいた
だいた忘れられ
ない言葉

新人看護師さん
チェスト! きばれ〜!!



6階病棟 長尾
産後の大量出血に
立ち会い学んだこと

東3階病棟 大深
不器用な自分自身がで
きたこと〜急変された患者様
との関わりを通して〜

3階病棟 長谷
血圧下降!
急変時の対応

発表を
終えて
(ピース)
これか
らも
頑張り
ます

看護の日



まちの保健室開催



看護の日に“萩看護学校”よりお花を頂きました。



毎年恒例! 看護の日のイベントとして「まちの保健室」を開催しました。血圧測定30名、血管年齢測定58名、ハンドマッサージ40名。身長・体重測定、グッズやパンフレットの配布も行いました。各部署からフレッシュナースの応援もあり、明るい雰囲気で開催することができました。ご参加ありがとうございました。来年も、より多くの方に来て頂けるように考えていきたいと思います。

(一社)山口県病院協会 優良病院職員表彰
河口氏、和田氏が彰状と記念品を頂きました



都志見病院教育研修会参加優良者記念品授与
金賞 阿武(章)氏、銀賞 久保田(絵)氏



看護部
表彰者



-シリーズ-

“がん”について知っておこう 「前立腺がん」



外来での超音波検査

前立腺は男性の膀胱のすぐ下で、尿道を取り囲むように位置し、精液の一部をつくっています。前立腺癌は高齢者に多く、本邦の男性では4番目に多い癌です。前立腺癌は男性ホルモンの作用で増殖し、多くは緩やかに進行します。

前立腺癌は前立腺肥大症と症状が同じで、両者を鑑別するには血中PSA(前立腺癌の腫瘍マーカー)の測定が有用です。

PSAから前立腺が疑われた場合は前立腺生検で確定診断します。前立腺癌と診断された場合は癌の進展度(病期診断)を行い、治療法を決定します。前立腺癌に対しては、①手術(前立腺全摘除術)②放射線治療③内分泌療法の3つの方法が主体に行われています。

① 前立腺全摘除術

癌が前立腺内に限局し、大きな合併症がなく、75歳以下(余命10年以上が望まれる)患者さんに限って1番すすめられている治療法です。近年、手術用ロボット“ダビンチ”が用いられることにより、従来の開腹手術に比べて、安全、低侵襲かつ精密に手術が行われるようになってきました。

② 放射線治療

癌が前立腺周囲に浸潤した場合にも有効です。近年、強度変調放射線治療(IMRT)により、各自に前立腺の形態に応じた照射が可能となり、手術と同等の効果が得られるようになりました。

③ 内分泌療法

がんの増殖を促進する男性ホルモンの作用を低下させる方法で、転移のある症例にも有効です。簡単な方法で、全ての患者さんに行うことが可能です。除手術と注射の治療があります。しかし、症例によっては治療開始から数年後に癌の抑制効果が低下し再燃が生じることがあります。

3つの治療法は各々に長所と欠点がありますが、どの治療法も良く効きます。癌の進展度、全身状態および年齢に加え、患者様の好みによって治療法を選択することが可能です。

都志見病院では(月)～(金)の平日、毎日泌尿器科外来がございます。ご不安をお持ちの方はお気軽にご受診ください。

泌尿器科医師 石津和彦



第12回 出前講座

“がん”について知っておこう in 大井



平成30年6月9日(土)、大井公民館にて、第12回 出前講座を開催しました。

今回は、大井地区社会福祉協議会主催「お～い元氣かい!」との初のコラボレーション開催となり、74名と多くの方々にご参加くださいました。講演後には、がん発症率の性差や、すい臓がんの検査・発見についてのご質問、また、がん患者様に寄り添った緩和ケアチームの活動について、励ましのお言葉をいただくなど、大変実りある講演会となりました。

ご参加いただきました皆様、また、大井地区社会福祉協議会、大井公民館の皆様のご厚情とご協力に心より感謝申し上げます。都志見病院では、今後も癌についての啓発を行うべく、出前講座を開催して参ります。皆様のご参加をお待ちしております。





看護の日

ポスターで部署の紹介&アピール



5階病棟
フレッシュナース(新人)さんが作成しました



東3階地域包括ケア病棟
"12ヶ月を漢字"に行事を折り紙で作りました



6階病棟 かれんな花々
一致団結してがんばるぞ〜

各部署の渾身の作品を
紹介します。1階・2階・東
館の外来に貼ってあり
ますので見て
下さいね。



3階病棟 風船のように
ふんわり、やわらかい…私たち



手術室 真ん中の辛子レンコン
あれは…無影灯です



透析室
ねえねえ知ってる?(プルゾン風)
糖尿病のあなたも注意です!



外来 私は、ここにいま〜す!!



患者サービス向上委員会主催

“琴混管”コンサート



6月5日(火)14時～15時
東館1階 待合室



手足の運動で汗ばむ時間もあり、懐かしい歌を皆で口ずさみました。楽しい時間をありがとうございました

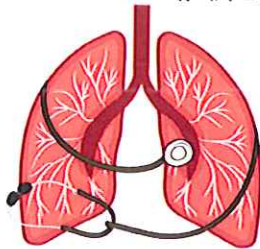


院内感染対策全体研修会

感染管理認定看護師 奥川広子

平成30年度 第1回 院内感染対策全体研修会を行いました。

テーマ:「結核とIGRA検査」、6月20日現在で256名の参加がありました。



結核は誰もが感染して発病する可能性があります。

毎年、国内ではおよそ2万人弱、山口県内では、200人弱の方が結核を発病しています。

まずは医療従事者である私たちが、結核について正しい知識を持つことが重要です。



院内医療安全全体研修会

サブゼネラルリスクマネージャー 野村知由樹

当院のインシデント報告の中で、報告数が一番多いのが転倒・転落です。この転倒・転落のリスクを少しでも軽減することをテーマに全体研修を3回行いました。研修の内容は、「睡眠導入剤について」の基調講演を玉一薬剤部長が行った後、

「夜間の病棟看護」

① 不眠、せん妄を起こした患者さんへの対応

② 患者さんの転倒リスクを軽減

というビデオを供覧しました。質のよい睡眠が転倒・転落のリスク軽減につながることをよく理解して、これからも患者様の安全安心を守れるよう、職員一丸となって努力して参ります。



新規導入人工呼吸器の院内説明会

臨床工学部

病棟での講習風景



この度、人工呼吸器「ベラビスタ」と「サーボエア」を導入しました。

院内の臨床工学技士が、医療法における医療機器に係る安全管理のための体制確保に基づき、新規導入医療機器取り扱い講習を、各病棟に出向き実施しました。

ベラビスタ



サーボエア



車イスを頂戴しました

『萩山口信用金庫』様より、創立100周年記念事業として、当院へ車イス2台が寄贈されました。長く、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



No.4

足部と膝の関係実践① ～ 母趾編 ～

前回までは“椅子から立ち上がると歩きづらい、膝の内側が痛い”という訴えの原因が実はお尻にあるというお話をさせていただきました。今回はさらに話を深めて“足部と膝の関係”をお話しさせていただきます。よく“母趾に力を入れて歩きなさい”と聞いたことありませんか？実は変形性膝関節症を悪化させる要因になりかねません。母趾に力を入れて踏ん張って歩くと、長母趾屈筋(図1)という筋肉を常に働かせしめてしまいます。この筋肉は転倒を防ぐためにバランスを取る重要な筋肉と知られております。しかし、常に踏みしめて働かせしめてしまうと、土踏まずを潰し膝関節を内側にねじる力を発生させ、痛みを発生させるストレスを生じさせます。間違った体の使い方が、膝痛を引き起こしている一因となっています。実は簡単にチェックできます。母趾球のあたりを指で圧迫してみてください(図2)。

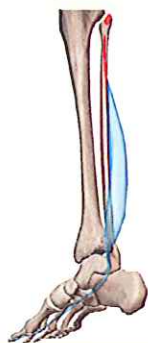


図1 長母趾屈筋



図2 母趾球圧痛チェック

もし圧痛があれば、踏みしめて歩きすぎです。是非チェックしてみてください！対処法としては“踏みしめない”です！



リハビリテーション部スタッフは笑顔と感謝をもって患者様をお迎えしております。痛みのことなら何でもご相談くださいませ。



くすのき掲示板

4～6月のイベントの記録

5月 リトミック参観



今年度初のリトミック参観では、親子での触れ合い遊びもあり、子ども達もとても喜んでいました。

6月 集団遊び



0～2歳児向けのルール遊びをしました。“カミナリサマ”“かえるとい”など季節に合った集団遊びは、これからの時期、室内遊びにぴったりです。



4月 こいのぼり製作

